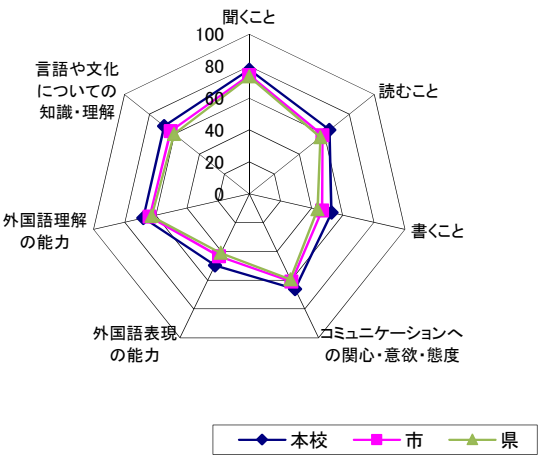


宇都宮市立星が丘中学校 第2学年【英語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	77.8	74.4	73.5
	読むこと	64.2	58.7	56.9
	書くこと	52.8	46.8	43.9
観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	66.2	61.0	59.4
	外国語表現の能力	49.6	43.5	41.1
	外国語理解の能力	68.0	64.0	62.8
	言語や文化についての知識・理解	68.2	62.9	60.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	○領域の正答率は、市を3.4ポイント、県を4.3ポイント上回り、設問別では、特に「対話文の内容を聞き取り、適切に応答する」部分が県や市の平均を大きく上回っている。 ●概要をとらえることはできていても、細部の理解があいまいになっていることがあり、より正確な聞き取りが必要である。	・授業でのインタラクションや、オーラルイントロダクションを効果的に行いながら、聞きとる力を伸ばしていく。 ・ALTを授業の中で効果的に活用し、ネイティブの発音に慣れさせると共に、コミュニケーション能力を高めていく。
読むこと	○領域の正答率は、市を5.5ポイント、県を7.3ポイント上回っており、設問別では「語形・語法の知識・理解」において市や県の平均を10ポイント以上、上回っている。 ●設問別に見てみると、「英文の読み取り・読み取った内容をふまえて、英文を完成させること」の正答率は市や県を上回っているものの、正答率が50ポイント以下になっている部分もある。読みとった内容を活用することに課題がある。	・教科書以外の教材を活用しながら、まとまりのある英文の要点をつかませる力を継続的に育てていく。 ・長文に対する苦手意識の強い生徒が多い現状がある。段階的に英文の量を増やしながら、英文の読解に慣れさせていく。 ・読みとった内容を活用し、発信できるようにするため、日頃から複数技能を統合した授業を行うことを意識する。
書くこと	○領域の正答率は、市を6.0ポイント、県を8.9ポイント上回っている。設問別では、特に「まとまった内容の英作文」において、県の正答率を10ポイント以上上回っている。 ●他の領域と比較すると、全体的に正答率が低くなっている。特に、「対話の流れに合った英文を書く」では正答率が25.6ポイントと低い。	・単文からまとまりのある英文へと段階的な指導を行い、書くことにおける表現力を高めていく。 ・自分にとって書きやすいテーマで書くことだけでなく、与えられた流れに沿うよう表現する力も必要である。限られた時間の中ではあるが、様々な英作文の練習を取り入れていく。 ・個別に支援が必要な生徒への指導をTTや習熟度別学習の授業も利用して、継続して支援していく。